

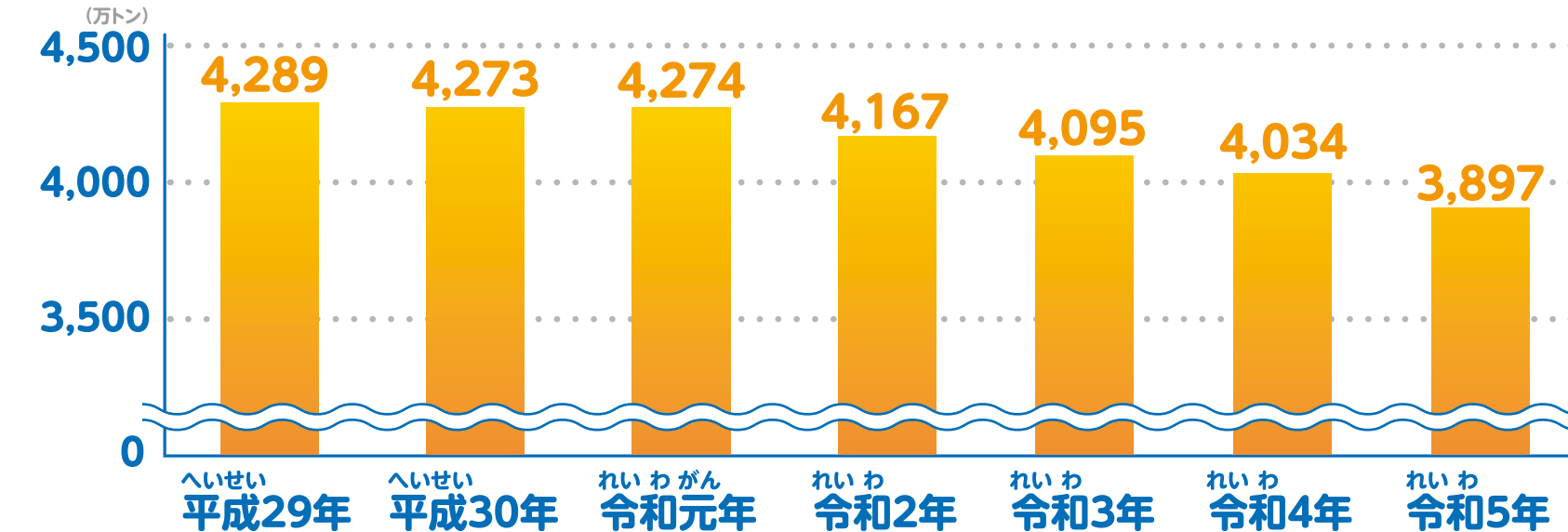
未来の地球のために、自分でできることを考え、実践しよう ～カーボンハーフ～

じゅんかんがた社会とカーボンハーフ

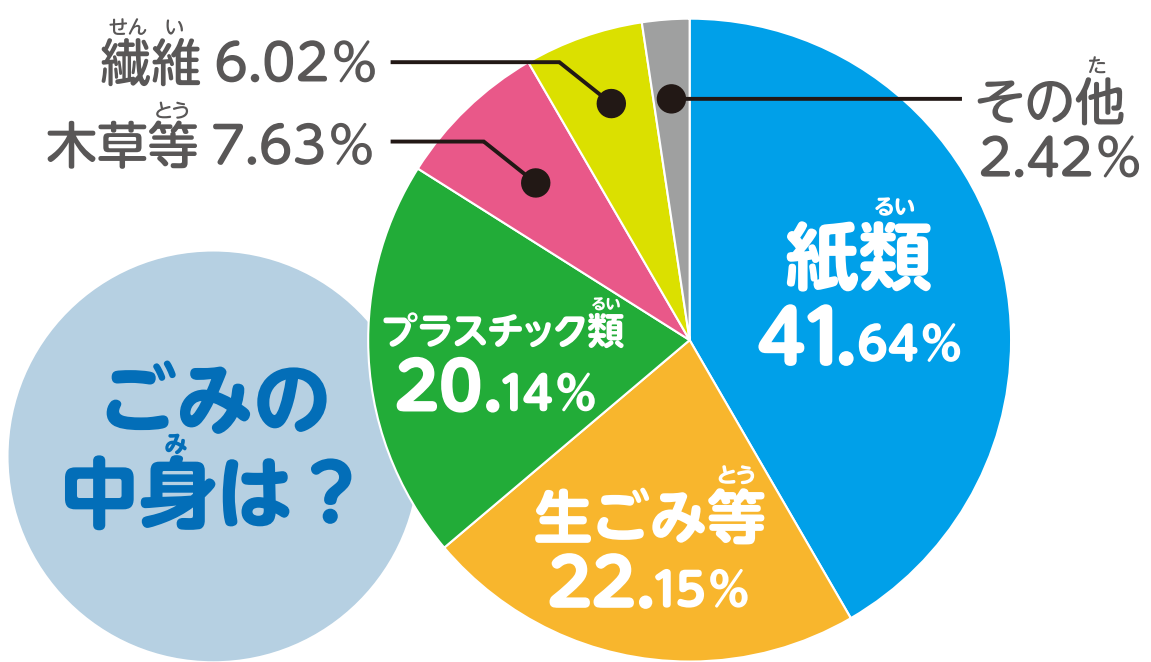
●日本のごみの量

日本では毎日多くのごみが出されています。そのうちの半分以上は家庭から出されるごみです。家庭から出されるごみの中で多いのは、紙類と生ごみです。生ごみには、まだ食べられるのにすてられてしまう食品ロスもふくまれています。

〈ごみのそうはい出量〉



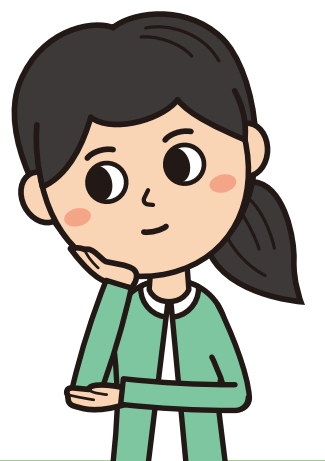
「一般廃棄物の排出及び処理状況等について」より作成
出典：環境省



ごみの
中身は？

「令和6年度ごみ性状調査結果 ごみの中身」より作成
出典：東京二十三区清掃一部事務組合

家庭から出るごみをへらすにはどうすればいいのかな。

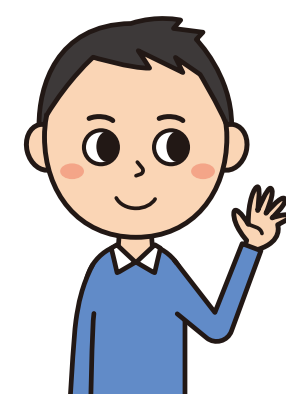
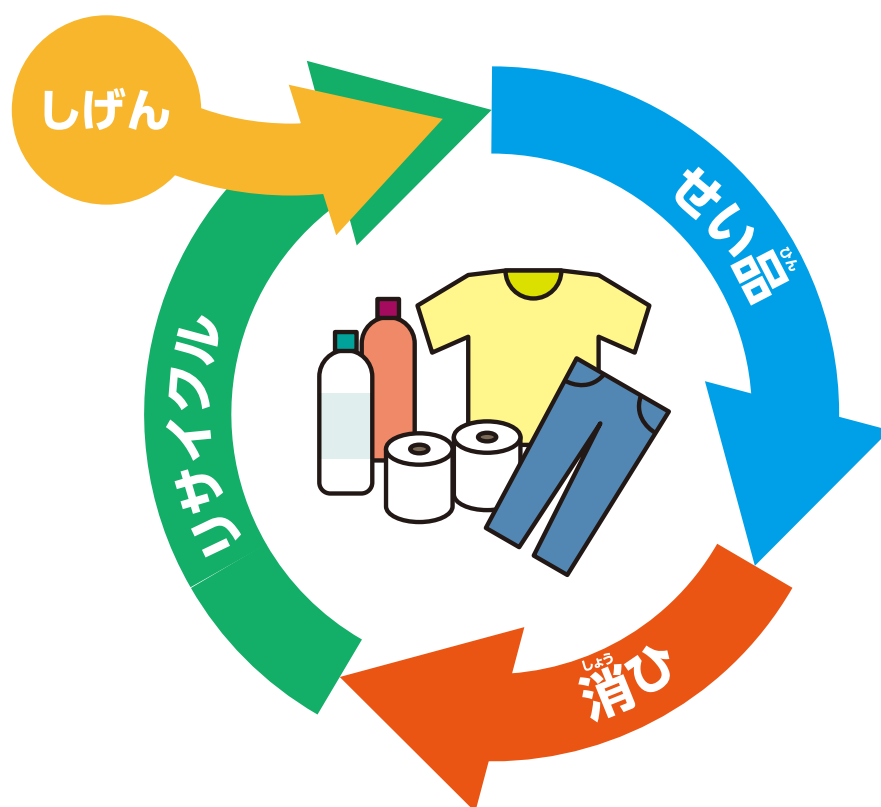


●じゅんかんがた社会って何だろう？

わたしたちが生活の中で使っているものは、地球上のしげんから作られています。しかし、地球上のしげんにはかぎりがあり、考えて使わないとやがてなくなってしまいます。これからは、作ったものを使いすてにするのではなく、しげんやものをくり返し使う「じゅんかんがた社会」を目指すことが大切です。

ごみをもやすときには、温室こう果ガスが出ます。ものやしげんをくり返し使い、ごみをへらす「じゅんかんがた社会」の実げんは、地球温だん化をふせぐことにもつながります。

じゅんかんがた社会の考え方



「じゅんかんがた社会」の実げんが、地球温だん化をふせぐことにつながるのなぜかな。

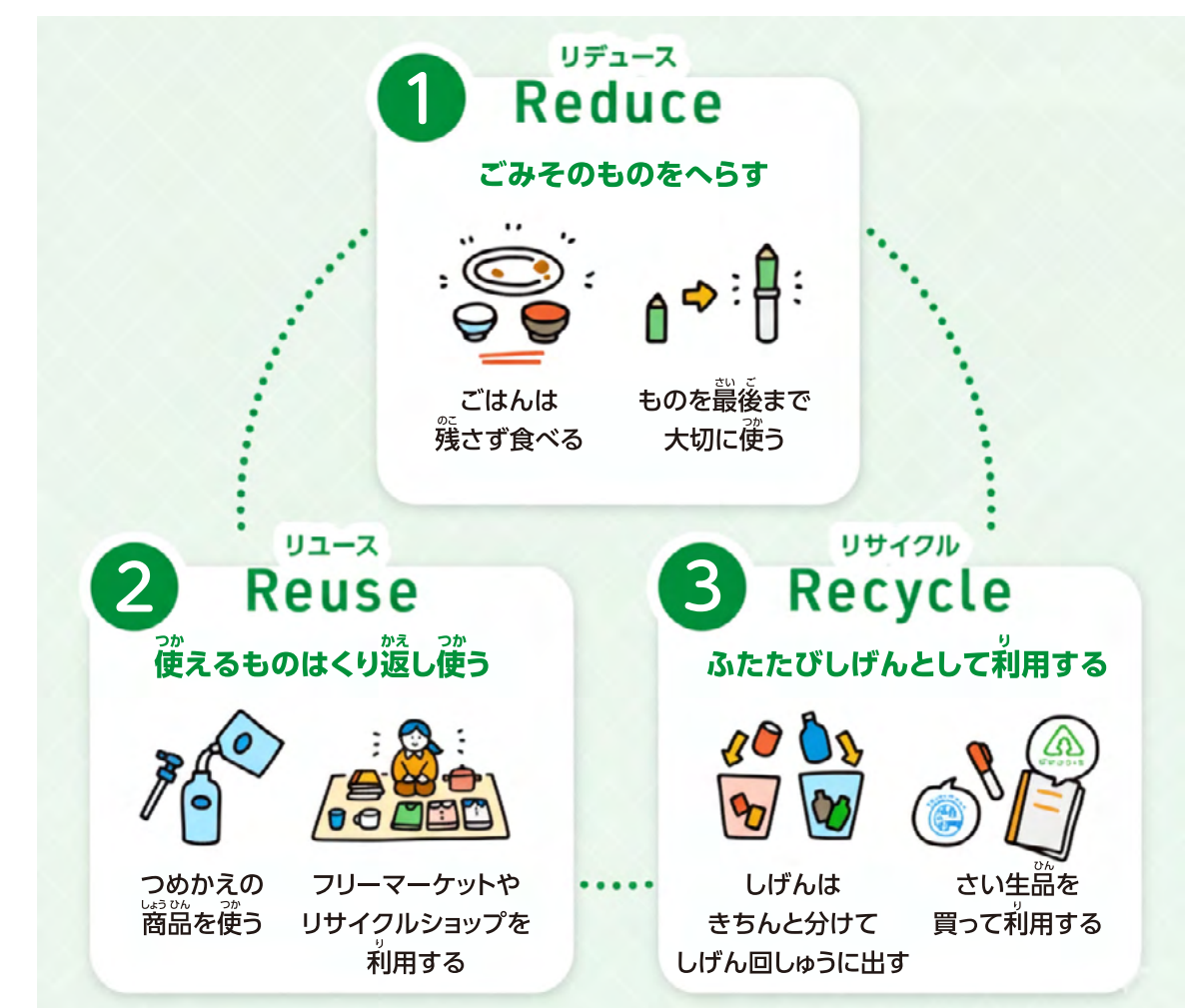
●ごみをへらすためにできること

ごみをへらして、地球のしげんを大切にするための取り組みが、3Rです。

3Rとは、次の三つの取り組みのことです。

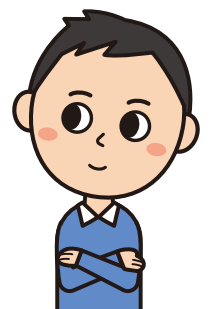
- Reduce (リデュース) ごみそのものをへらす
- Reuse (リユース) 使えるものはくり返し使う
- Recycle (リサイクル) ふたたびしげんとして利用する

3Rはどれも大切な取り組みですが、リサイクルするためにもエネルギーが必要となります。まずはごみを出さないようにすることが大切です。



「『循環型社会』って？ 自分にできることを考えよう」を加工して作成
出典：広報東京都 こども版

リサイクルはよく聞く言葉だね。



考えてみよう・・・

ごみをへらすために、自分でできる3Rの取り組みにはどのようなものがあるのか考えてみましょう。



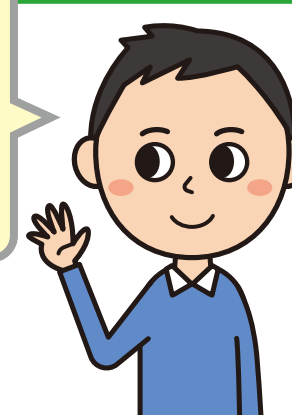
調べてみよう

小学生のための環境リサイクル学習ホームページ

【一般社団法人産業環境管理協会】
<https://www.cjc.or.jp/j-school/>



使い終わったもののしよ理について調べてみよう。

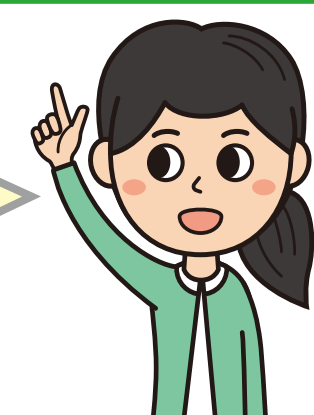


まちまも街を守るごみ処理の仕事

【広報東京都こども版】
<https://www.kodomokoho.metro.tokyo.lg.jp/article/202405-1/>



ごみしよ理の仕事について調べてみよう。



HTT
TokyoTokyo